



# グアムの大自然に囲まれて

## ここからの交流

### 青少年海外派遣事業

今年で十回目となるグアムへの青少年海外派遣事業。今回は、八月二十日から二十三日までの日程で、二十人の中学生を派遣しました。

生徒たちは、現地中学校への訪問や、原住民チャモロ民族の村での研修を通して、グアムの大自然を直接肌で感じ、国境を越えて交流の輪を広げました。

#### イナラハン中学校

以前にも数回訪問し、なじみの深いこの学校は、今年も町派遣団の訪問を楽しみにしてきてくれたようで、到着と同時に多くの生徒に囲まれ、学校の制服であるポロシャツまでいただきました。チャモロダンスや合唱による歓迎を受けた後、書道、折り紙、あやとりなど、英語を交えた説明で日本文化を紹介しました。また、道着姿で空手を披露すると、校長先生をはじめたくさんの生徒が集まり、一緒に型を演じる場面もありました。バスケットボールやバレーボールの試合では、国や言葉の違いに関係なく一緒に楽しむ姿が見られました。

この交流の様子は、翌日地元新聞に掲載され、日本への素晴らしいおみやげになったようです。

#### チャモロ民族村・農園

椰子の木の縁に囲まれたチャモロ民族村では、ココナッツの葉編みや塩作りなどの見学、ロブ作りや魚捕りの網打ちなどの体験を通して、チャモロの文化に触れることができました。また、農園では日本では見られないフルーツや手作りのケーキを試食し、南国の雰囲気を味わいました。その他にも、天然プールの散策や水牛乗りなども体験し、たくさんの思い出ができた四日間でした。



水牛乗りも体験



塩作りを体験



チャモロダンスで歓迎を受ける